

教科・科目	商業・情報処理	単位数	2単位	学年・学級	2年I群
使用教科書	情報処理（東京法令出版）		副教材	全商ビジネス文書実務検定試験問題集2級(実教出版) 全商情報処理検定試験問題集2級(実教出版)	

学校教育目標		郷土を愛し　たくましく生きよう　自ら学ぶ意欲を　持ち続けよう											
育成を目指す資質・能力		傾聴力		○	協働力		○	議論する力					
		自省力			理解力		○	批判力					
		自己実現力		○	表現力		○	情報活用力		◎			
学習の到達目標		①企業において情報を適切に扱えるようにするための知識や技術を、実務に即して体系的・系統的に身に付ける。 ②情報を適切に扱うことで、さまざまな問題を発見し、解決していけるようにするための力を身に付ける。 ③情報に関する知識や技術を活用し、主体的かつ協働的に問題を解決し、企業活動を改善していこうとする態度を身に付ける。											
評価の観点		①　知識・技能			②　思考・判断・表現			③　主体的に学習に取り組む態度					
A 活用できる		ビジネスにおいて役立てることができる、情報を収集・処理・分析・表現するための知識や技術を身に付け、活用できる。			情報を扱うための知識や技術を活用して、情報に関する課題を発見し、解決するための思考力・判断力・表現力を身に付け、活用できる。			組織の一員として自己の役割を認識し、情報に関する知識や技術を活用して、協働して課題を解決していこうとする態度を身に付け、活用できる。					
B わかる・できる		ビジネスにおいて役立てることができる、情報を収集・処理・分析・表現するための知識や技術を身に付けている。			情報を扱うための知識や技術を活用して、情報に関する課題を発見し、解決するための思考力・判断力・表現力を身に付けている。			組織の一員として自己の役割を認識し、情報に関する知識や技術を活用して、協働して課題を解決していこうとする態度を身に付けている。					
C 努力を要する		ビジネスにおいて役立てることができる、情報を収集・処理・分析・表現するための知識や技術を身に付けることに努力を要する。			情報を扱うための知識や技術を活用して、情報に関する課題を発見し、解決するための思考力・判断力・表現力を身に付けることに努力を要する。			組織の一員として自己の役割を認識し、情報に関する知識や技術を活用して、協働して課題を解決していこうとする態度を身に付けることに努力を要する。					
具体的な改善方法		・課題の作成、提出に取り組む。その際、常に課題の取り組み状況を把握し、都度指導を行う。			・課題の作成、提出に取り組む。その際、常に課題の取り組み状況を把握し、都度指導を行う。 ・グループ課題の作成などで生徒間の教え合いで理解を深める。			・自らの学習状況を振り返って把握し、学習の進め方について改善する					
評価基準 (各１０段階)		A	10	～	7	A	10	～	7	A	10	～	7
		B	6	～	3	B	6	～	3	B	6	～	3
		C	2	～	1	C	2	～	1	C	2	～	1
		評価の方法			評価の方法			評価の方法					
		・行動観察			・行動観察			・行動観察					
		・課題作成			・課題作成			・課題作成					
		・単元テスト			・単元テスト			・単元テスト					
		・検定の取り組み			・検定の取り組み			・検定の取り組み					
		・定期考査			・定期考査			・振り返りシート					

【学習計画】

月	単元	学習の目標	評価の観点	評価の方法	自己評価	実際評価
			① ② ③			
4	ガイダンス	1年間の学習内容、シラバスの活用方法について理解する。				
5	第1章 情報の活用と情報モラル	・情報を活用するための知識・技術を習得する。 ・情報化社会の一員としてモラルやマナーに関する正しい知識と判断に基づいた行動することができる。 ・情報と文書の関係や文書主義の原則、文書情報の役割について、興味をもって学ぼうとしている。	○ ○ ○ ○ ○ ○	・行動観察 ・課題作成 ・単元テスト		
6	第4章 ビジネス文書の作成	・図形描画機能の利用や、表計算ソフトで作成したグラフなどを、文書を作成する際に役立てることができる。 ・情報と文書の関係性や文書主義の原則、文書情報の役割について理解する。 【①②③：実習課題】 ・機器やソフトを適切に活用し、例題や練習問題を指示されたとおり作成することができる。【①②③：実習課題、振り返りシート】	○ ○ ○ ○ ○ ○	・行動観察 ・課題作成 ・単元テスト ・振り返りシート		

7	【全商ビジネス文書検定】	・検定学習の取り組み【①②③：検定受験、検定結果、振り返りシート】	○ ○ ○	・検定の取り組み		
8	第2章	・情報通信ネットワークの仕組みを積極的に学び、活用することができる。	○	・行動観察		
9	情報通信ネットワークとセキュリティ管理	・情報ネットワークの概要を理解し、それを活用することができる。 ・個人レベルのセキュリティ管理をすることができる。	○ ○	・課題作成 ・単元テスト		
	【全商情報処理検定】	【①②③：実習課題、振り返りシート】	○ ○ ○	・定期考査		
	【前期期末考査】	☞振り返り【①②③：実習課題、検定結果、定期考査】	○ ○ ○	・検定の取り組み		
		☞後期の目標				
10	第3章	・表計算ソフトの基本操作を理解し、情報を加工することができる。	○	・行動観察		
	ビジネス情報の処理と分析	・関数の書式や機能をはじめ、表計算ソフトウェアにおけるデータや や計算式の取り扱いを理解する。	○ ○	・課題作成 ・単元テスト		
		・自ら考えて目的に応じた様々な分析手法で情報を表現することができる。	○ ○ ○	・振り返りシート		
11		・情報を分析し、判断に利用するための方法について関心を持ち、表計算 ソフトウェアの実習に積極的に取り組もうとしている。 【①②③：実習課題、振り返りシート】	○ ○ ○	・行動観察 ・課題作成 ・単元テスト ・振り返りシート		
	【全商ビジネス文書検定】	・検定学習の取り組み【①②③：検定受験、検定結果、振り返りシート】	○ ○ ○	・検定の取り組み		
12	第5章	・プレゼンテーションソフトウェアを利用して分かりやすい資料を作成 することができる。【①②③④：実習課題】	○	・行動観察		
	プレゼンテーション	・分かりやすく伝えるための話し方の基本を理解する。	○ ○	・課題作成 ・単元テスト		
1		・自分や他の生徒が実施したプレゼンテーションについて、その良い点 や改善点を評価することができる。分かりやすい話し方や発表態度で プレゼンテーションを実施できる。【①②③：実習課題、振り返りシート】	○ ○ ○	・振り返りシート		
	【全商情報処理検定】	・検定学習の取り組み【①②③：検定受験、検定結果、振り返りシート】	○ ○ ○	・検定の取り組み		
2	【学年末考査】	☞振り返り【①②③：実習課題、定期考査】	○ ○ ○	・課題作成		
3		・情報処理の探求活動	○ ○ ○	・定期考査		

☞最終評価（自己評価／実際評価）

① 知識・理解		② 思考・判断・表現		③ 主体的に学習に取り組む態度	